

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 2 月 13 日(2023.2.13)

【公開番号】特開 2022-101366(P2022-101366A)

【公開日】令和 4 年 7 月 6 日(2022.7.6)

【年通号数】公開公報(特許)2022-122

【出願番号】特願 2020-215895(P2020-215895)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 2 月 3 日(2023.2.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤に設けられ、遊技球が流下可能な遊技領域と、
遊技球が入球可能な第 1 入球口を有する第 1 入球手段と、
前記第 1 入球手段への遊技球の入球に基づいて所定制御を実行可能な制御実行手段と、
遊技球を第 1 流路と第 2 流路とに少なくとも振り分け可能な振分手段と、
前記振分手段よりも前記遊技領域の下方側に設けられ、遊技球が入球可能な第 2 入球口
を有する第 2 入球手段と、
前記遊技領域において前記第 2 入球手段に対して右側方向に設けられ、遊技球が入球可
能な第 3 入球口を有する第 3 入球手段と、
前記第 3 入球手段の前記第 3 入球口を入球可能状態と入球不能状態とに切替可能な切替
手段と、
を備える遊技機であって、
前記切替手段は、遊技球を転動させ得る転動手段を備え、
遊技者にとっての価値は、前記第 1 流路の方が前記第 2 流路よりも高く構成されており、
前記制御実行手段は、
前記第 1 入球手段への遊技球の入球に基づいて、所定期間の移行待機期間を設定する期
間設定手段と、
少なくとも前記所定期間の移行待機期間の経過に基づいて前記切替手段を前記入球可能
状態に移行させ得る移行手段と、
を備え、
本遊技機は、
前記期間設定手段によって前記所定期間の移行待機期間が設定されている場合に前記切
替手段は前記入球不能状態に設定され、
前記切替手段が前記入球不能状態に設定されている状況において、前記振分手段によっ
て前記第 1 流路に振り分けられた遊技球は前記第 3 入球手段に入球することなく前記第 2
入球手段に入球可能である
ことを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

[形態]

遊技盤に設けられ、遊技球が流下可能な遊技領域と、
遊技球が入球可能な第 1 入球口を有する第 1 入球手段と、
前記第 1 入球手段への遊技球の入球に基づいて所定制御を実行可能な制御実行手段と、
遊技球を第 1 流路と第 2 流路とに少なくとも振り分け可能な振分手段と、
前記振分手段よりも前記遊技領域の下方側に設けられ、遊技球が入球可能な第 2 入球口 10
を有する第 2 入球手段と、
前記遊技領域において前記第 2 入球手段に対して右側方向に設けられ、遊技球が入球可
能な第 3 入球口を有する第 3 入球手段と、
前記第 3 入球手段の前記第 3 入球口を入球可能状態と入球不能状態とに切替可能な切替
手段と、
を備える遊技機であって、
前記切替手段は、遊技球を転動させ得る転動手段を備え、
遊技者にとっての価値は、前記第 1 流路の方が前記第 2 流路よりも高く構成されており、
前記制御実行手段は、
前記第 1 入球手段への遊技球の入球に基づいて、所定期間の移行待機期間を設定する期 20
間設定手段と、
少なくとも前記所定期間の移行待機期間の経過に基づいて前記切替手段を前記入球可能
状態に移行させ得る移行手段と、
を備え、
本遊技機は、
前記期間設定手段によって前記所定期間の移行待機期間が設定されている場合に前記切
替手段は前記入球不能状態に設定され、
前記切替手段が前記入球不能状態に設定されている状況において、前記振分手段によっ
て前記第 1 流路に振り分けられた遊技球は前記第 3 入球手段に入球することなく前記第 2
入球手段に入球可能である 30
ことを特徴とする遊技機。